



第2号

# 障害者と雇用

発行 平成22年9月

## 1. 職場定着促進のための在職者の交流活動（第二回）

### 「金銭管理」についての勉強会

開催日 平成22年7月24日（土）/開催場所 海匠ネットワーク さわやかホール（旭市）  
開催時間 PM13:30～PM14:30/参加費用 無料

私たちセンターでは年4回、在職中および就労を目指している障害を持たれている方を対象に、交流活動の一環として勉強会を開催しています。今回は金銭管理についてということで、東総権利擁護ネットワークより 滑川 里美氏 を招き、講義をしていただきました。

#### 第一部：講演

「お金がたまるお金の使い方」をテーマに、お金とはどういうものか、何に使うか、どうやって使うかについて分かりやすい表現で講義をしていただきました。

また、日常生活自立支援事業や成年後見制度というお金の管理を手伝ってくれる人についての説明も行われ、参加した皆さん、熱心に耳を傾けていました。



#### 第二部：グループディスカッション

参加者が3つのグループに分かれ、グループの中でリーダーを決め、それぞれのテーマに沿ったロールプレイを作成しました。なかなか参加者だけでは進まない場面もありましたが、講師である滑川氏が各グループを回り、上手く進めることができました。初めて会う方も多く、最初はあまり話をする事ができなかった方も居られましたが、徐々に意見を出してくれるようになり、最後の方は和気あいあいといった雰囲気、皆さんの充実ぶりが伺えました。

◎障害者雇用をされている、もしくは考えている企業の方や、就労支援事業所で支援されている方など、興味をもたれた方は当センターまでお気軽にお問い合わせください。**ボランティア**、**見学者**の参加もお待ちしております。次回は11月開催（開催日未定）テーマは「身だしなみについて（仮）」です。

## 2. 就業支援者養成ミニセミナー in 東総（第一回）

### 「働きたい」を応援する就労支援 I P S（援助付き雇用）研修

開催日 平成22年8月28日（土）/開催場所 国保旭中央病院 3号館 5F 中講堂1  
開催時間 PM13:30～PM17:00/参加費用 無料 /主催 I P S T o k y o

医療福祉関係者・就労支援に携わる支援者等を対象に、当センターでは年2回、就業支援者養成セミナーを開催しています。第一回目は主催の I P S T o k y o 様、他多数の後援を頂き、32名の参加者が集まりました。すぐにも使える実践的な I P S のノウハウをお伝えし「働きたい」を応援する新しい就労支援の仕方について講演をしていただきました。



**IPS (Individual Placement and Support) とは**  
精神障害者が、社会に出ることにより期待された以上の自立機能を発揮できる可能性がある、ということを示した科学的根拠に基づいた支援体制です。

#### ①本人の長所や興味を活かしていく

当事者の希望や好みに基づいて、自己決定や自分らしさを見出しながら、意欲的に活動できるように二人三脚で取り組んでいきます。

※上の写真は、グループワークで長所を読み取る訓練をしているところです。

#### ②社会・医療との連携

IPS 支援では、病院や訓練施設等の保護された環境ではなく、一般社会の中で一人の人間としての役割を担い、社会の場が提供する「力」を活用します。また、医療機関がチームに入り、主治医と連携して臨床サービス(例:心理教育、積極的傾聴、認知行動療法、動機付け面接等)を支援の中に取り入れていきます。

#### ③充実した生活を送る為に！

症状の重さに関わらず、本人の長所、やりたいことを最大限に尊重し、自分らしい充実した生活を目指す手助けをする、それがIPS 支援です。支援のゴールは「安定した就労」ではなく「充実した生活の実現」にあります。



#### ～当日の様子～

講師4名、司会者1名で行われ、その内の**講師2名および司会者は当事者が勤めました**。実体験や現在の活動、想いなどをそれぞれの立場から講義していただきました。

## 3. のぞみ会の報告

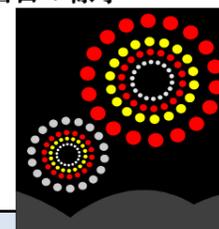
就労されている障害を持たれている方で構成された会であるのぞみ会。その一番のイベントである夏季キャンプが行われました。普段の仕事をそのまま生かして調理に腕を振るう参加者もいれば、普段とは違う表情を見せ元気に手伝いをする参加者など、思いがけない発見が多々ありました。※のぞみ会では、一緒に活動して頂けるボランティアさんを随時募集しています。

### 7月 のぞみ会夏季キャンプ開催！

#### ◎実施場所

- ・キャンプ場 かずさオートキャンプ場（君津市）
- ・日帰り温泉 ごりやくの湯（大多喜町）
- ・その他 養老溪谷（大多喜町）

#### ～当日の様子～



当日の参加者は32名（会員24名、ボランティア5名、センター職員3名）天候にも恵まれ、大幅な予定変更も無く開催されました。キャンプや日帰り温泉をみんなで楽しみ親睦を深めながら、日常生活上のマナーや公共施設の使い方を学びました。



#### 発行元&お問合せ



社会福祉法人 ロザリオの聖母会 東総障害者就業・生活支援センター

〒289-2513 千葉県旭市野中3825

TEL 0479-60-0211 FAX 0479-60-0212

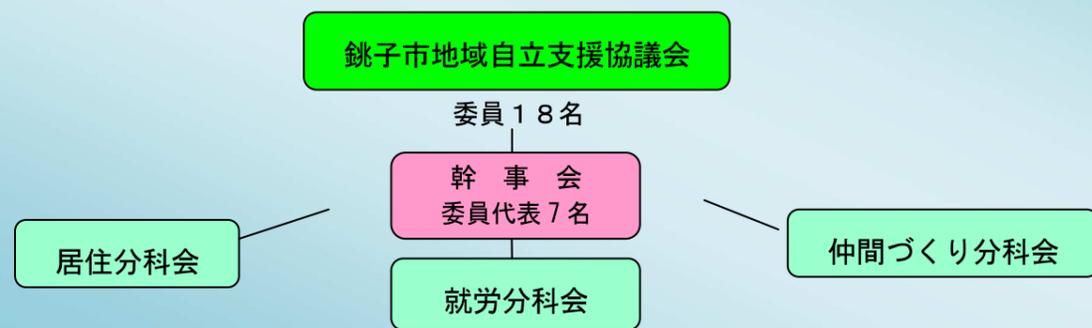


今回は、地域の取り組みをクローズアップいたします。私たちセンターでは障害のある方もそうでない方も誰でも働きながら住みやすい地域づくりを目指しています。各市町村にある「自立支援協議会」に委員として参加をしています。その一つ、銚子市自立支援協議会では就労分科会で「障害のある方の働く又は働き続けられるための地域システム作り」を行っており、地域の皆様に、働きたいと思っている障害のある方がどんな活動を日々されているのかを知っていただきたく、活動をまとめさせていただきました。今回は、銚子市自立支援協議会 就労分科会の皆様にご協力をいただき、それぞれの事業所や学校での取り組みを紹介させていただきます。

### 銚子市地域自立支援協議会について

障害者自立支援法に基づき、障害のある人の生活を支援するシステムづくりを行うための本協議会が平成20年1月に設置されました。協議会の委員は福祉、医療、教育等多分野から選出された18名の委員から成り立っています。

現在、『居住分科会』『就労分科会』『仲間づくり分科会』の3つの分科会が立ち上げられました。分科会のメンバーは協議会委員だけではなくテーマに応じ障害者本人も含め関係者が集まり毎月意見交換が行われています。



◎就労分科会に参加している施設（製造作業や内職作業を通し職業訓練の実施）を紹介します◎

### 銚子市地域活動支援センター のぞみ

「のぞみ」では、作業を通じて楽しい生きがいのある生活をし、社会生活の適応力を身につけながら、就労をめざしています。（ゴムのバリ取り、ガラス・木作りアクセサリ制作等）現在は、18才～61才までの23名の利用者が通所しています。

☎ 0479-24-2445

～作業風景～ ～ガラスアクセサリ～



### 知的障害者授産施設 銚子市三崎園

銚子市三崎園では、29名の皆さんが園芸やバッグ製品の下請け作業などに取り組んでいます。その中のひとりTさんは、主に魚用木箱づくりに励みながら一般就労に向け、就労分科会での話し合いをもとに、「報告・連絡・相談」がきちんとできることを目標に、毎日仕事に励んでいます。

☎ 0479-23-3330

～箱打ち作業～



～夏祭り風景～



### 銚子市地域活動支援センター しおさい

「しおさい」は、障害を持つ人に、日中の活動の場を提供しています。「春日」と「三崎」の二か所の作業所があります。「春日」は、午前は軽作業（ミシン作業、ゴム部品のバリ切り作業など）、午後は日替わりのプログラム（スポーツ、料理実習、野菜栽培作業、各種相談・情報交換など）を実施しています。これらの活動を通じて、社会への参加意欲を促進します。「三崎」は、パン、クッキーなどの製造販売を行い、午前は製造作業、午後は販売及び明日の準備作業をしています。通所者の腕前もだいぶ向上しており、お客様の「おいしかったよ！」の声を励みに日々頑張っています。ここで力をつけた通所者は、一般の会社等への就労を目指します。

以上のように、「しおさい」は、その人に合った作業室で支援を続けていますが、通所者は「就労したい！」という気持ちを強くもっており、その気持ちが叶うよう支援していきます。

☎ 春日：0479(25)3475

三崎：0479(23)9012

～パン製造作業風景～



◎就労分科会に参加している特別支援学を紹介します◎

### 千葉県立銚子・八日市場特別支援学校

～職場実習のお願い～

特別支援学校（旧養護学校）では社会自立を目指して、実際に生徒が職場で働く体験学習を行っています。生徒たちの自立に向けた学習にご協力をいただける企業を探しております。ご協力いただける企業担当者様、下記連絡先までご連絡をお願いします。



#### 【実習の概要】

実習時期、期間 6月頃と10月頃 1週間～3週間程度（土日祝日は除く）  
 実習時間 期間及び時間については事業所の都合により相談させていただいています。  
 経費及び災害補償 交通費、昼食代は生徒自己負担。通勤途上、実習中の怪我や事故については、学校で加入している保険が適用されます。報酬は一切いただきません。  
 その他 実習先・本人・保護者・学校で面接等を通して十分に打ち合わせをしてから実習を行います。期間中は学校職員が適応状況等の確認のため訪問します。  
 実習生について 高校生（15歳から18歳）です。実習には生徒個々に目標をもって臨んでいます。基本的に一人で公共交通機関を利用し、職場に通います。一人で着替え、食事等身の回りのことができます。（保護者送迎の場合もあります。）

千葉県立八日市場特別支援学校

☎ 0479-72-2777

進路担当 衣幡敦子

千葉県立銚子特別支援学校

☎ 0479-22-0243

進路担当 宮内一美

地域自立支援協議会は、各市町村で取り組みが行われております。障害がある方やそのご家族、又は地域の皆様の声や日ごろの思いをお話しいただいて良い場でもあります。是非、この機会に知っていただき、ご活用いただければと思います。お問い合わせは各市町村の福祉課になっております。

また、東総障害者就業・生活支援センターでは、ハローワークと連携し、障害のある方の実習や雇用支援、その他の生活に関わる相談を受けております。お気軽にご相談ください（0479-60-0211）